

学 術 講 演

○印講演発表者

講演者	演 題	発 表 機 関	年 月 日
○青 木 淳 一 藤 満 達 朗	環状切欠きを有するパーライト基地球状黒鉛鑄鉄の疲労強度特性	日本塑性加工学会	2007. 12. 14
○属 優 作 藤 満 達 朗	貫通穴を有する球状黒鉛鑄鉄の高温疲労強度特性	日本塑性加工学会	2007. 12. 14
○和 田 光 史 藤 満 達 朗	球状黒鉛鑄鉄の高温疲労強度特性と硬さの関係について	日本塑性加工学会	2007. 12. 14
○山 田 誠 藤 満 達 朗	アルミニウム合金の腐食疲労強度特性	日本塑性加工学会	2007. 12. 14
○前 村 英 史 皮籠石 紀雄 陳 強 後 藤 真 宏 森 野 数 博	インコネル 718 の超音波疲労特性に及ぼす微視組織の影響	日本機械学会九州支部, 中国四国支部合同企画 沖縄講演会	2007. 10. 20
○西 村 一 寛 皮籠石 紀雄 森 野 数 博 大 園 義 久 山 根 健 作 深 田 一 徳	インコネル 718 の疲労強度に及ぼすラジカル窒化の影響	日本機械学会九州支部, 中国四国支部合同企画 沖縄講演会	2007. 10. 20
○岩 本 哲 平 皮籠石 紀雄 森 野 数 博 永 野 茂 憲 近 藤 英 二	マルエージング鋼の中高温下における疲労強度	日本材料学会第 57 期学術講演会	2008. 5. 24
○陳 強 前 村 英 史 皮籠石 紀雄 後 藤 真 宏 森 野 数 博	インコネル 718 の超音波疲労特性	日本材料学会第 57 期学術講演会	2008. 5. 24
○皮籠石 紀雄 山 根 健 作 後 藤 真 宏 近 藤 英 二 森 野 数 博	インコネル 718 の中高温疲労におけるき裂伝ば抵抗	日本機械学会 2008 年度 年次大会	2008. 8. 6
○伊 藤 尚 長 井 浩 安 藤 生 大	風況調査用小型データロガーの開発および その教育的応用	第29回風力利用シンポジウム	2007. 11. 29
○安 藤 生 大 狩 野 勉 伊 藤 尚 長 井 浩	千葉県銚子市における風力発電施設を利用した環境教育の取り組み	第29回風力利用シンポジウム	2007. 11. 29

講演者	演 題	発表機関	年 月 日
○伊 藤 尚 長 井 浩 安 藤 生 大	環境エネルギー教育を意識した教材開発	日本機械学会講演会 技術 と社会の関連を巡って：過 去から未来を訪ねる	2007.12.8
○安 藤 生 大 伊 藤 尚 長 井 浩	千葉県銚子市の屏風ヶ浦 地域エコツアーの提案	日本機械学会講演会 技術 と社会の関連を巡って：過 去から未来を訪ねる	2007.12.8
○藤 田 重 隆 張 間 貴 史 大 坂 英 雄	長方形切欠を加えた長方形噴流の流れ場の可視化	可視化情報学会 全国講演 会（岐阜2007）	2007.9.26
○山 内 栄 二, 河 野 俊 一 専 徳 博 文 桜 本 逸 男	脊髄圧迫の応力解析	日本機械学会年次大会	2007.9.7
○市 原 和 彦 加 藤 圭 彦 桜 本 逸 男	超高速引張試験下での脊髄軟膜力学特性—自動車事 故による脊髄損傷メカニズム解明にむけて	第 22 回日本整形外科学会 基礎学術集会	2007.10.24
○市 原 和 彦 加 藤 圭 彦 桜 本 逸 男 河 野 俊 一	Pathophysiology of Acute Traumatic Central Cervical Spinal Cord Injury without Fracture or Dislocation Based on the Mechanical Features of the Spinal Cord.	Cervical Spine Research Society 35st Annual Meeting, San Francisco,	2007.11.29
○市 原 和 彦 加 藤 圭 彦 山 内 栄 二 岡 孝 一 桜 本 逸 男	脊髄バイオメカニクス:脊髄力学特性を導入した有限 要素解析を用いて Brown-Sequard 症候群のメカニズ ムを解明する	第 34 回日本臨床バイオメ カニクス学会	2007.12.7
○市 原 和 彦 加 藤 圭 彦 山 内 栄 二 岡 孝 一 桜 本 逸 男	脊髄くも膜の力学特性とその役割	第 34 回日本臨床バイオメ カニクス学会	2007.12.7
○市 原 和 彦 田 口 敏 彦 桜 本 逸 男 岩 本 正 実	有限要素法(FEM)を用いた中心性頸髄損傷の発症機序 の検討	第 23 回日本脊髄外科学会	2008.6.12
○松 本 隆 伸 西 村 太 志 井 原 郁 夫	ナノインデンテーション試験における残留応力の影 響に関する実験的検討	日本機械学会第 15 回機械 材料・材料加工技術講演会 (M&P2007)	2007.11.17
○関 川 篤 西 村 太 志 井 原 郁 夫	局所領域の降伏応力同定へのナノインデンテーショ ン法の適用	日本機械学会第 15 回機械 材料・材料加工技術講演会 (M&P2007)	2007.11.17

○印講演発表者

講演者	演 題	発 表 機 関	年 月 日
○高 橋 学 井 原 郁 夫 西 村 太 志	差分法解析を利用した超音波法による物体温度分布モニタリング	日本機械学会第 15 回機械材料・材料加工技術講演会 (M&P2007)	2007. 11. 17
○松 本 隆 伸 関 川 篤 西 村 太 志 井 原 郁 夫 上 柿 順 一 島 義 和	局所領域の応力ひずみ応答測定へのナノインデンテーション法の適用	日本機械学会 2008 年度年次大会	2008. 8. 4
○小 田 和 広 原 田 晃	界面き裂の応力拡大係数に及ぼすき裂面接触の影響	日本機械学会九州支部・中国四国支部合同企画沖縄講演会	2007. 10. 20
小 田 和 広 ○平 岡 大 司	有限要素法による三次元界面き裂の簡便解析法の検討	日本機械学会中国四国支部第 46 期総会・講演会	2008. 3. 7
○松 村 泰 裕 池 田 光 優 小 嶋 直 哉 三 上 真 人	高温場におけるポリエチレンフィルムの着火・燃焼挙動	第 45 回燃焼シンポジウム	2007. 12. 6
○石 田 浩 一 板 谷 年 也 田 中 章 雄 武 平 信 夫	多角形コイルの形状関数について	電気学会計測研究会 IM-07-41	2007. 11. 9
石 田 浩 一 板 谷 年 也 ○田 中 章 雄 武 平 信 夫	ノイマン法による任意形状コイル間の相互インダクタンスの計算式	電気学会計測研究会 IM-07-42	2007. 11. 9
板 谷 年 也 石 田 浩 一 田 中 章 雄 ○武 平 信 夫	多層角丸方形コイルの磁界解析	電気学会計測研究会 IM-08-25	2008. 5. 30
辻 野 次 郎 丸 上 岡 哲 宜 久 保 寺 優 大 平 悟 ○山 崎 孝 洋 鈴 木 厚 行	直径 40mm の金属円環対縦一曲げ振動変換器を用いた複合振動工具の構成 — 縦一曲げ振動変換器を用いた超音波複合振動工具 (2) —	日本音響学会	2007. 09. 20
○鈴 木 厚 行 中 村 有 佑 久 保 寺 優 上 岡 哲 宜 辻 野 次 郎 丸	複数のボルト締めランジュバン型振動子を用いたスクリュ型超音波モータの構成について	日本音響学会	2008. 3. 18
○上 田 恭 平 池 田 信 彦	2 段階並列ハミング連想記憶モデルのハードウェア化に関する考察	平成 19 年度電気・情報関連学会中国支部連合大会	2007. 10. 20

講演者	演 題	発表機関	年 月 日
○松岡秀美 池田信彦 北風裕教 松野浩嗣	SOMによる蛋白質情報を用いた癌細胞の分類手法の一考察	平成19年度電気・情報関連学会中国支部連合大会	2007.10.20
○小林明伸 力規晃 柳澤秀明	情報電子工学科における創造教育について	第28回情報処理研究発表会	2008.8.28
○松尾かおり 原田徳彦	バスケットボールフォーメーションシステムの開発	平成19年度電気・情報関連学会中国支部第58回連合大会	2007.10.20
○藤村悠司 藤原東雄 上俊二 桑島啓治 福田靖 正司泰博	マグネシウム系固化材を用いた防草材に関する研究	第60回土木学会中国支部研究発表会	2008.5.31
○桑嶋啓治 藤原東雄 上俊二 有富昌宏	防草と透水能力を兼ね備えた地盤の改良に関する研究	山口県平成19年度官学共同研究報告会	2008.8.21
○岡成信正 佐賀孝徳 渡辺勝利	剥離点近傍における流れの組織性に関する研究	第60回土木学会中国支部研究発表会	2008.5.31
○河村 亘 佐賀孝徳 渡辺勝利	連続水制周辺に形成される流れ構造の流速分布特性に関する研究	第60回土木学会中国支部研究発表会	2008.5.31
○藤井健太郎 佐賀孝徳 渡辺勝利	アメダスデータを用いた降雨特性の経年変化に関する研究	第60回土木学会中国支部研究発表会	2008.5.31
田村隆弘	コンクリート構造物に発生する「収縮」ひび割れ対策	山口県平成19年度技術研修会	2007.10.9
田村隆弘	徳山高専におけるキャリア教育とインターンシップ	日本インターンシップ学会平成19年度第2回研究発表会	2007.12.15
田村隆弘	最近のコンクリート	山口県平成19年度新技術・新工法研修会	2008.1.22
田村隆弘	高専発、「コンクリートよろず研究会」活動報告	全国高専テクノフォーラム	2008.8.21
田村隆弘	山口宇部線試験施工で得られるコンクリートひび割れに関する情報の分析とこれに基づく実用的なひび割れ対策技術の研究	山口県平成19年度官学共同研究報告会	2008.8.21

○印講演発表者

講演者	演 題	発表機関	年 月 日
熊 野 稔	マイクロ・ナノバブル技術の基礎Ⅱ (温泉、まちづくり)	第2回マイクロバブル技術基礎セミナー	2007. 9. 22
熊 野 稔	昼神温泉の活性化に向けて	阿智村マイクロバブルセミナー	2007. 11. 23
熊 野 稔	温泉街振興とマイクロバブル	水環境技術研究会	2008. 3. 23
○永 田 能 啓 渡 辺 勝 利 佐 賀 孝 徳	栈型粗面開水路流れに形成された組織構造の特徴	平成 19 年度全国大会第 63 回年次学術講演会	2007. 9. 13
○徳 光 洋 輔 渡 辺 勝 利 佐 賀 孝 徳	高水数変化に伴う片複断面開水路流れの特徴	平成 19 年度土木学会中国支部研究発表会	2008. 5. 31
○渡 辺 勝 利 徳 光 洋 輔 佐 賀 孝 徳 永 田 能 啓	片複断面開水路流れに形成された組織構造の特徴	可視化情報シンポジウム 2008	2008. 7. 22
○井 上 哲 雄 大 成 博 文 加 田 謙 一 渡 辺 勝 利	高専教員連携による村づくり	第 6 回全国高専テクノフォーラム	2008. 8. 21
渡 辺 勝 利	ブレイクスルーの科学と技術について	第 1 回全国高専阿智サミット	2008. 8. 28
渡 辺 勝 利	ブレイクスルーの科学と技術に関する一考察	日本高専学会第 14 回 年会・講演会	2008. 8. 31
○中 元 智 史 橋 本 堅 一 島 袋 淳	マグネシウム系固化材モルタルの強度評価に関する研究	第 60 回平成 20 年度土木学会中国支部研究発表会	2008. 5. 31
室 長 大 應	技術者教育における物理教育の課題(4) ー科学技術に関する意識調査を中心としてー	日本工学教育協会第 56 回 年次大会	2008. 8. 1
大 橋 正 夫	層状結晶 $K_xTi_{2-x}Fe_xO_4$ ($x = 0.80$) のイオン交換とリチウム二次電池正極への応用	第 27 回エレクトロセラミックス研究討論会	2007. 10. 19
大 橋 正 夫	層状結晶 $CsTi_2NbO_4$ のイオン交換と電池正極材料への応用	日本セラミックス協会 2008 年年会	2008. 3. 21
国 重 徹	逆転の発想！コミュニケーションスキル向上の指導を通じた人間力の育成ー徳山高専における英語のマンツーマン指導の実践ー	日本工学教育協会第 8 回ワークショップ「コミュニケーションスキルの指導法」	2008. 2. 16
小 川 仁 志	貧困問題をめぐるコラボラティオンの限界と可能性	京都ヘーゲル読書会	2008. 7. 6

○印講演発表者

講演者	演 題	発表機関	年 月 日
柏倉 知 秀	14 世紀後半リユーベック商人のネットワーク・プロソポグラフィーにおける社会ネットワーク分析の試み—	平成 20 年度立正大学史学会大会	2008. 6. 22

分 担 執 筆

執 筆 者	書名および章題・題目・頁	発 行 所	発行年月日
天 内 和 人	ショウジョウバエ内胚葉特異的 GATAe による標的遺伝子の活性化機構 pp. 670	日本分子生物学会、	2007. 12
天 内 和 人	専攻科における海外長期インターンシップへ取り組み pp. 5-8	海外インターンシップ・COOP 教育フォーラム	2008. 1
熊 野 稔 他	建築法規用教材、2008 年版	丸善	2008. 3
熊 野 稔 他	木造廃校舎の利活用——その可能性と意義——	日本建築学会	2007. 10
熊 野 稔 他	感動の田舎泊 効果検証・安心院グリーンツーリズム pp. 52～59	財団法人 都市農山漁村交流活性化機構	2007. 12
熊 野 稔 他	バイオマス構想の動向とバイオマスペレット—バイオマスタウン構想及び山口県自治体や地方自治体・主要企業の事例調査を通して—	環境自治体会議	2007. 9
熊 野 稔	平成 19 年度研究収録 農業経営者養成教育の効果的な取り組み pp. 79-88	全国農業高等学校長協会	2008. 1. 31
佐々木 伸子	住宅白書 2007-2008 「サスティナブルな住まい」Ⅲ部展望編、②質の高い各世代の住まい 1. コレクティブハウスなど高齢者の住宅づくり運動 pp. 269-271	ドメス出版	2007. 9

特 許

考案者名	名 称	公示番号
伊 藤 尚	多色発光素子を用いた照明ならびに情報表示システムおよび表示方法	特願 2007-284365
鈴木 厚 行 辻野 次郎丸	複合振動子	特願 2008-053430